

# 平成19年度 南丹市

# 会計決算を認定

12月議会開会日冒頭、平成19年度市会計歳入歳出決算の討論、採決をおこないました。一般会計および国民健康保険事業特別会計は賛成21、反対3の賛成多数で、その他の8会計は全員賛成で認定しました。

魅力ある  
まちづくりの年に

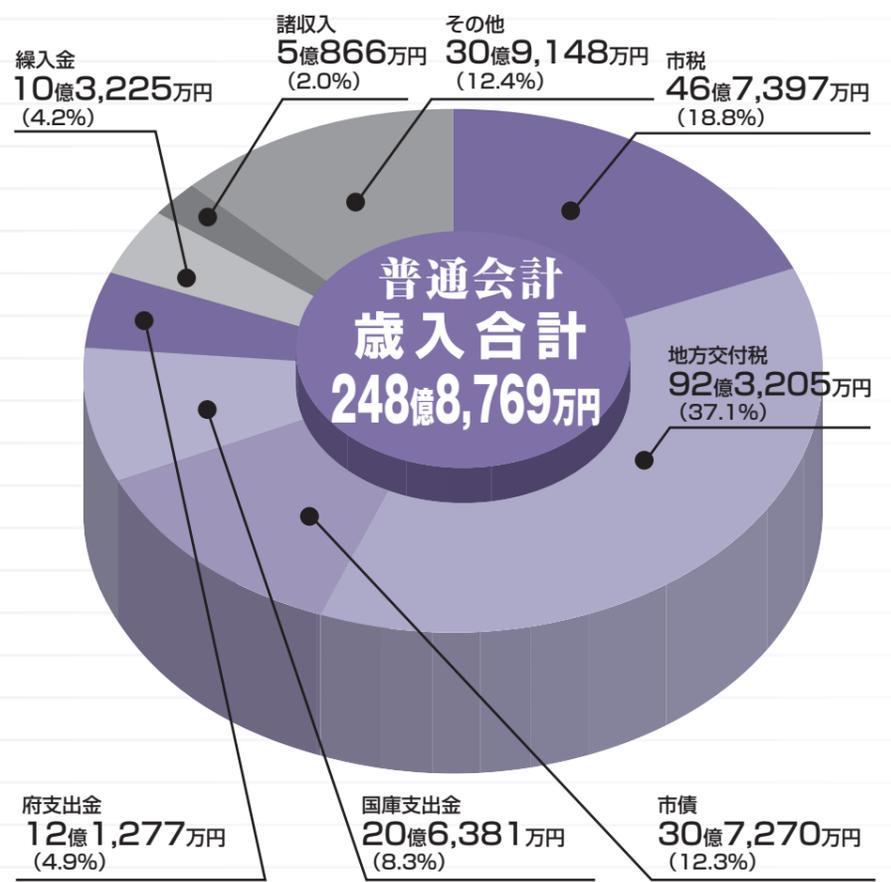
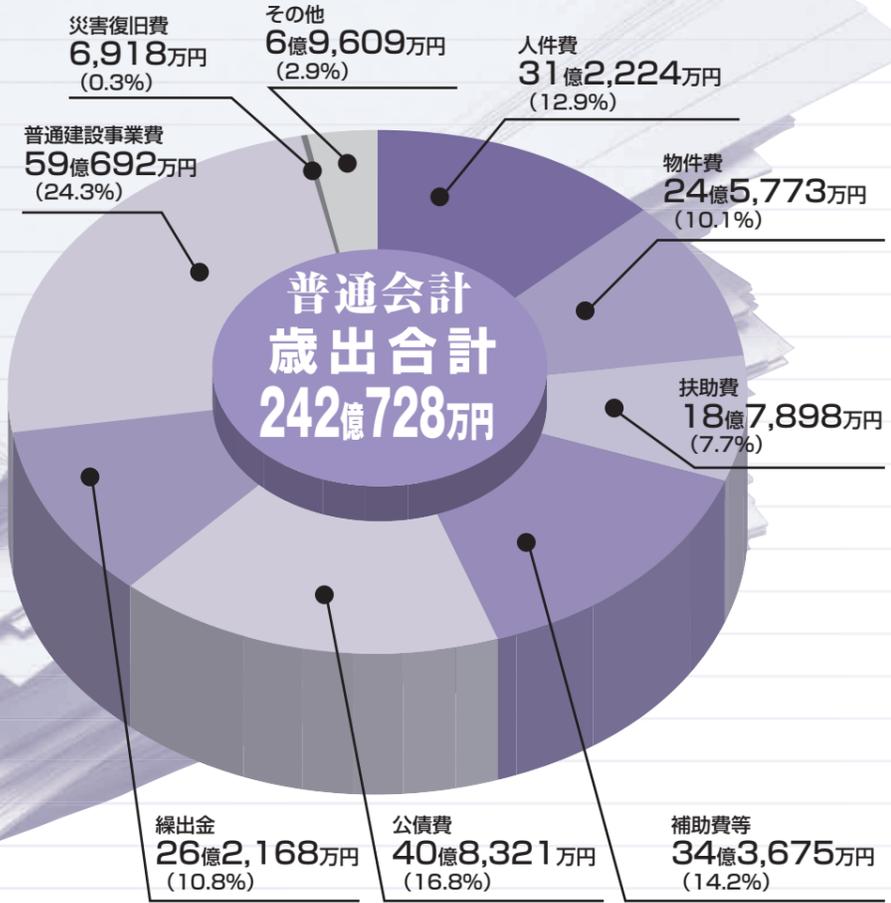
議長 吉田 繁治



市民の皆様には、2009年の新春をこ家族お揃いで健やかに迎えられることを心から

お慶び申し上げます。今、社会は世界金融危機に端を発し、国内においても非正規労働者の解雇や社会

保障等、数多くの問題を抱えての厳しい幕明けとなりました。また昨年は、一度に多くの尊い命が奪われる痛ましい事件も発生し、複雑化した社会のひずみを感じた1年でありました。議会としても



平成20年12月定例会は12月2日に開会され、22日閉会しました。2日の開会日には、条例改正17件、補正予算9件および道路認定4件など、計30件の議案の提案理由の説明が行なわれま

した。また、9月議会で提出され10月・11月に審査されてきた平成19年度南丹市会計決算認定について討論し、採決の結果承認しました。8日から10日の3日間をかけた、14人が一般質問

を行ないました。その後、付託された各委員会で議案の審議を行ないました。最終日22日には、すべての議案を可決しました。

## 悪化する財政指標

指標	平成19年度	平成18年度	平成17年度	備考
財政力指数	0.380	0.347	0.307	1に近いほど財源に余裕あり
経常一般財源比率(%)	104.9	106.9	108.0	高いほど歳入に弾力性があるとされる
経常収支比率(%)	95.8	92.4	90.3	80%を超えると弾力性が失われつつあるとされる
公債費比率(%)	18.5	17.1	17.1	10%を超えないことが望ましい
実質公債比率(%)	17.7	17.0	15.8	18%以上は起債に当たり許可が必要に

## 平成19年度会計別決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般	244億2,040万円	238億2,723万円	5億9,317万円	
国民健康保険事業	35億9,238万円	35億6,579万円	2,659万円	
老人保健事業	41億5,263万円	41億5,175万円	88万円	
介護保険事業	28億7,745万円	27億3,879万円	1億3,866万円	
市営バス運行事業	1億1,389万円	1億462万円	927万円	
簡易水道事業	11億6,049万円	11億4,750万円	1,299万円	
下水道事業	35億5,154万円	34億8,972万円	6,182万円	
商品券事業	2,135万円	887万円	1,248万円	
土地取得事業	7億8,248万円	7億8,248万円	0円	
企業会計	収益的収支	4億5,167万円	3億8,954万円	6,213万円
	資本的収支	1億3,462万円	3億6,202万円	▲2億2,740万円

## 普通会計とは

市町村ごとに各会計の範囲が異なっているため、財政比較などのため地方財政統計上統一的に用いられる会計区分。南丹市の場合、一般会計に市営バス運行事業、商品券事業および土地取得事業の特別会計が合わさった会計です。